



ROTARY INTERNATIONAL OITA JOSAI ROTARY CLUB

国際ロータリー第2720地区
大分城西ロータリークラブ
〒870-0021 大分市府内町トキハ会館4階
PHONE 532-0611 FAX 532-8386

週報

例会日 毎週水曜日 P.M.12:30~13:30
例会場 大分全日空ホテル オアシスタワー
会長 岩尾 隆志
幹事 木本 明博
会報委員長 吉田 明弘



「城下町の家」 '68日展入選 寺司勝次郎

WEB URL <http://gloweb.chiikikagaku.co.jp/rotary>

2005~2006

第20回例会 11月30日 No.742

今月は職字率向上月間です。

年度始めご挨拶

会長挨拶

『調和と奉仕』

会長 岩 尾 隆 志

1990年4月、城西ロータリークラブ創立の際、故古城敏雄初代会長に誘われてロータリークラブに入会致しました。当時の古城会長は51歳、私は38歳でした。それから16年目、在籍するチャーターメンバーで会長経験のない最後の一人でありました私にもついに会長の大役が廻ってまいりました。気が付くと何時の間にか当時の古城会長の歳を超えていました。15年の間、歴代の会長にはそれぞれ多くのことを教えていただきました。前年度の佐藤会長は、ロータリー100周年にあたり「あなたにとって、ロータリーとは」を年度テーマに掲げられ、100周年の節目に今一度ロータリーの原点を見つめ直す機会を与えて下さいました。藍澤幹事との絶妙なバランスで、クラブの基礎を一段と強固なものにしていただき、これからますますという時に一年間が経ってしまいました。そして今、自分がその立場に立つこととなり、不安と責任感でいっぱいです。会員の皆様のご指導、ご協力をいただきながら精一杯務めていきたいと思ひます。

本年度のRI会長のステンハマー氏は、長年ロータリーの標語として親しまれてきた「超我の奉仕」を年度テーマとされました。

「超我」という言葉には東洋的、仏教的なイメージが感じられます。道徳性、哲学性を高めていくことが求められているのかも知れません。自己研鑽はロータリアンの努めであり、喜びでもあります。「ロータリーは利他一路」

また、2720地区の森田静一ガバナーは、地区の年度テーマを「シンプル・オープン・エンジョイ」とされ、①百年後第一年発足の記念行事セミナー等積極的に行う。②皆様個人の経済的負担を軽減し、有効活動に集中する。③世界社会奉仕(WCS)に全力を挙げる。④地区内では恵まれない方々へ手を差し伸べる福祉に力点を置く。を運営方針に掲げておられます。「福祉」は地域社会にとって重要な課題であり、私たちも積極的に勉強し、取り組まなければならない課題であります。

奉仕と親睦はロータリーという車の両輪だと言われています。奉仕については、会員それぞれの職業を通しての奉仕、職場においての奉仕が第一であり基本であると考えています。その対象として、社会があり、新世代があり、海外があるのです。私たちは職業の各分野においてそれぞれ専門家であり、プロであります。そこには奉仕の機会やニーズがいくらかあるはずですが、手の届かない海外等は別として、金品を主とする奉仕にはいささか疑問を感じています。そしてもう一方の車輪である親睦の第一は例会に出席し、例会を楽しむことと考えます。職業奉仕に努める会員同志が顔を合わせ、親睦を図ることにより、更なるエネルギーや知恵、協力を得ることが

ロータリーのシステムだといえます。ここでは奉仕と親睦とは別個のものではなく、奉仕を通じて親睦を図り、親睦を通して奉仕が語られます。奉仕と親睦の調和が大切です。

私は本年度のクラブテーマを「調和と奉仕」と致しました。「超我の奉仕」に語呂を合わせたところもありますが、クラブの活動においては、さまざまな場面で「調和」が求められますし、意識して「調和」を図らなければなりません。「調和」はハーモニーともバランスとも訳されます。個人とクラブ、クラブと社会、経済と奉仕、利己と利他、そして会員と会員、委員会と委員会、クラブと地区、それぞれの「調和」を図りながら、世のため人のため、心ときめく、「明るく、元気で、さわやかな」クラブをめざしたいと思います。

最後に当クラブの悲願であります会員数40名達成に向けて、会員の増強へのご協力をお願い致します。世のため人のために尽くす会員候補者をお知りあいの中から発掘していただきご推薦いただきますようお願い致します。

これから一年間、精一杯頑張ります。ただし無理をせず、自然体でいきたいと思ひます。会員の皆さんも健康に留意してロータリーを楽しんで下さい。木本幹事をはじめ各理事、各委員会、会員の皆様、そして事務局のスタッフのご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。新年度スタートのご挨拶と致します。



幹事挨拶

幹事 木本明博

本年度クラブ幹事を仰せつかりました。このような大役が回り、身の引き締まる思いがしております。これまでの歴代の幹事の諸先輩方は、いずれも頭脳明晰な方々ばかりで、私が無事役を務められるか大変危惧しております。

岩尾会長を補佐し当クラブの運営に努力するつもりです。

皆さんのお知恵をお借りしながらやりたいと存じますので宜しくお願い致します。

第46回例会の記録（6月29日）

会長の時間

会長 佐藤俊治

とうとう、会長の時間が今日限りとなりました。正直に言って、会長となって毎週毎週何かを話すという事は、浅学非才の身にとってはかなりのプレッシャーでした。特に、話すことを文書にするのが大変な作業で、当日の朝、4時に起きるのも少なくありませんでした。そういう意味では、毎週ロータリーの済んだ水曜日だけが、楽しい一時でもありました。でも、逆の捉え方をすれば、ネタ探しでは大変勉強になりました。

私が、会長の時間で気をつけた事は、極力皆さんに正確な事を伝えようとした事です。私の考えや推測を言っても仕方ないので、なるべく皆さんが知って得をしそうな事柄を伝える様に致しました。特に、私も経済界の隅に生きているので、経済に関する話を入れてみようと思ひましたが、思うようにいきませ